



直近のイベント 隠岐の4島を回って隠岐の良さを再発見しましょう！

花火大会	8月14日(日)	知夫村(郡周辺)
牛突き夏場所大会	8月15日(月)	隠岐の島町(モーモードーム)
精霊(シャール)船送り	8月16日(火)	西ノ島町(各地区)
海と自然を親子で学ぶ一日	8月20日(土)~21日(日)	西ノ島町(鶴丸前など)
キンニャモニャ祭り	8月27日(土)	海士町(菱浦港周辺)

山陰海岸ジオパークの視察に参加しました！

今回の視察は鹿野城下町でまちあるきガイドの方と町内を回り、鳥取砂丘ジオパークセンターで砂丘の成り立ちや、岩美町にある「海と大地の自然観」で3D映像や展示で山陰海岸の地形や動植物について学ぶことができました。視察のハイライトは、岩美町観光協会・環境省・岩美町シーカヤック協議会等による「もっと、おそうじカヌー！」イベント参加でした。浦富海岸で約40名の参加者と一緒にカヤックやボードで岩場をくぐり、浜で漂着ゴミを回収しました。

また、4月に行われた国賀ビーチクリーンに来てくれた山陰海岸ジオパークのみなさんと交流ができ、お互いのジオパークについて学ぶ良い機会でした。来年以降、隠岐でもこのようなイベントをできたら良いと思っています。



外国人観光客は今年も隠岐・西ノ島に来ています！

今年は去年の同じ時期と比べ、外国人観光客が増えています。香港ジオパークから1団体、イギリスから1団体の他に個人客がほとんどで、フランス、ドイツ、北欧などから特に多いです。最近、オーストラリアやアメリカの方も増えており、町内で外国人観光客を見かけたら、「こんにちは！」と声をかけてあげてください。ここは日本ですから、日本語での挨拶をされるとうれしいです！



秋に帝祭(みかどまつり)が開催されます！

9月17日(土)午後から別府港周辺で「帝祭」が開催されます。島まつり実行委員会(事務局:観光協会)では後醍醐天皇サミット、MIKADOパレード、出店、抽選会、餅投げ、花火など、観光客等を呼ぶための祭りとして企画しています。祭りの詳細は、8月以降の回覧板やタブレットでご確認ください。

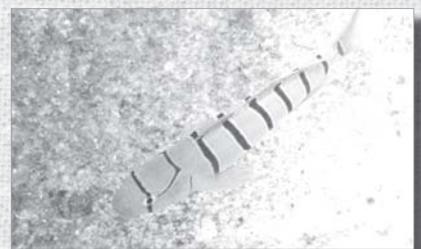
発見！ 西ノ島の自然の魅力 Vol. 7 『シマシマの数』

みなさんは水中メガネを付けて海に潜ったことはありますか？水中メガネで海を覗くと、素晴らしい透明度の西ノ島の海では、たくさんの魚の姿を見つけることができます。西ノ島の海辺でよく目にする魚に「キヌバリ」がいます。落ち着いたピンクの体にクッキリとした黒い7本のシマシマが入る美しいハゼの仲間です。

昔、浦郷では「さかつくり」とも呼ばれていたそうで見ただことがある方も多いと思います。

このキヌバリは太平洋側にもいるのですが、なんと線の数が6本しかありません。同じ種類ですが、祖先が日本海側と太平洋側に分かれ、年月が経つとともに少し違いが出てきた結果のようです。ふだんは浅瀬の海底近くをゆっくりと泳いでいます。静かに観察してシマの数を数えてみませんか(動くので意外と難しい)。6本だったら大発見かも？

(by 江崎)



▲ キヌバリ(胸ビレ以降の線を数えます)

★ふるさと子ども体験隊★

《7月》 さかなをさばいてみよう！

7月は2回ふるさと子ども体験隊を開催しました。

7月2日に行った体験隊では「魚をさばいてみよう！」ということで、児童5名と保護者、ボランティア総勢15名でハンペンとツミレを作りました。

お母さんやボランティアの方に手伝って貰いながら3枚に開き、ぶつ切りにした後は、すり鉢で粘りが出るまで交代しながらすり身を作りました。

大きなアジだったので、さばきやすかったのですが、白子や真子を始めて見たのか「なにこれー??」「うわー・・・気持ち悪い！」などの声があがっていました。

今回は参加してくれた児童は男の子ばかりで、まるで男の料理教室のようでした。



《7月》 マリンスポーツを体験しよう！

7月9日に行った体験隊では「マリンスポーツを体験しよう！」ということで、児童28名と保護者、ボランティア総勢60名でB&Gへ行き、クラブノアの方に指導をして貰いながらマリンスポーツを体験しました。当日はとて素晴らしいお天気で、子どもたちはやる気満々で準備を行い、友達同士でカヌーやヨットなどに乗りこみ、目一杯楽しんでいました。

片付けを行った後は、岸壁から飛び込んだり、自由に泳いだりと子どもたちは大はしゃぎでした！お昼には、ボランティアの方が作ってくれたカレーとフルーツポンチをみんなで食べてお代わりもたくさんしました。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



教育課

これで1学期のふるさと子ども体験隊は終了し、次回は10月の開催になります。
たくさんの児童・保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

島前高校レスリング部が島根県勢初の快挙

6月に行われた第55回中国高等学校レスリング選手権大会 団体戦にて、隠岐島前高校が島根県勢初の優勝というこれ以上ない成績を収めました。チームを優勝へと引っ張ってきた主将の堂下翔生さんからメッセージをいただきました。

私達、隠岐島前高校レスリング部は、6月18・19日に東広島運動公園体育館で行われた「第55回中国高等学校レスリング選手権大会」において団体戦で島前高校初・島根県勢初の優勝をつかみとることができました。この結果を、私達は大変誇りに思います。私達はこれまで、「団体優勝」という目標に向かい、日々練習に取り組んできました。今年度からレスリングの指導者も増え、朝練習が加わり練習も激しいものとなりました。妥協したくなる時や、集中できない日もありましたが、仲間と気持ちを高め合い目標に向かって練習に打ち込みました。今回は、その目標を達成することができて本当によかったです。努力が実ったことを実感しました。そして何より、「レスリング部を支えてくださった全ての方に恩返しができる」と思います。

今回の団体優勝は、本当に自信になりました。次はインターハイへ向けて、気持ちを切りかえて頑張っていきます。引き続き、応援よろしくをお願いします。

